

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
坂町立横浜小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
算数	5	2	4	8	
理科	5	2	3	6	
理科	6	2	3	6	

授業時数 計 20 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 20 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 1組 (担任: A)	A	A	A	専科	推進	専科	A	専科	A	専科	A	A	A
6年 2組 (担任: B)	B	B	B	専科	推進	専科	A	専科	A	専科	B	B	B
教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: C)	C	C	C	推進 C	推進	専科	C	C	C	専科	C	C	C
5年 2組 (担任: D)	D	D	D	推進 D	専科	専科	D	D	D	専科	D	D	D

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

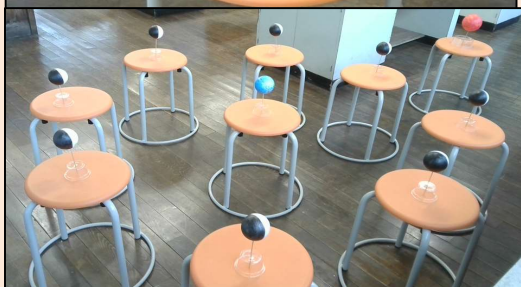
学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)				担任する学級の授業時数 (d)	授業時数の合計 (c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
6-1	26	A				0	16	16
6-2	24	B				0	16	16
5-1	22	C				0	18.6	18.6
5-2	20	D				0	18.6	18.6

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉

- ① 推進教員が、教材研究に時間を十分かけることができ、児童が体験的に学べる教材を準備したり、場作りをしたりすることができた。



「月の形と太陽」の授業の実践 月の形の変化を実感をもってとらえられるようにした手作りの月モデルを使った実験

- ② 日常的に学級担任と児童の伸びや課題点について共有した。
- ③ 推進教員から、各学級での日々の課題とは別に、一定期間を見通した理科の課題を提供した。
- ④ 観察や実験、予備実験の必要な理科の授業を推進教員が行った。

〈課題〉

- ① 理科の場合は、天気によ左右されたり日付を連続して学習したりする単元もあるが、高学年は専科が多く、時間割の融通を利かせることが難しいため、指導の効果を高めにくい場面があった。

〈成果〉

- ① 児童が試行錯誤しながら観察や実験を行うことができ、個々の興味・関心に応じた問題解決的な学習活動を充実させることができた。

昨年度からの教科担任制の継続実施により、今年度4月に実施した全国学力・学習状況調査において成果が表れた。教科担任制実施教科における本校の平均正答率は下記の通りであった。

【算数】本校 71% 広島県 59%
【理科】本校 69% 広島県 59%



実験のまとめとして児童が作成したスライド

- ② 授業を担当する学級の経験年数の浅い担任が学級経営に悩んでいるときに、授業の進め方や、児童への指示の出し方など一緒に考えることができた。
- ③ 推進教員が提供する課題について、Googleカレンダー等を活用し、自分でスケジュールを管理しながら取り組む力が付いてきている。
- ④ 学級担任が教材研究を行う時間を確保することができた。

〈対策〉

- ① 早めに計画をたて、他教科の専科担当と長期的なスケジュールで時間割調整を行っていく。